

南東北通所リハビリテーションセンター-須賀川

12月20日にクリスマスリース作りを行いました。丸くした折紙にシールやふわふわのボールを付けて、モールで飾っていただけのようにしました。細かい作業でしたが、皆さんそれぞれキレイに飾り付けてくださいました。職員によるハンドベルの演奏も披露し、楽しいクリスマスとなったようです。



ぼたん通信

1月号



南東北パワーリハビリテーションセンター-須賀川

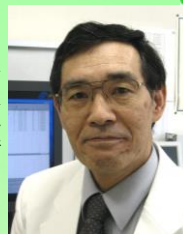


作品展示会

広げるのがちょっと難しかったけど、きれいにできました。

〔令和四年一月十五日発行〕
 一般財団法人 脳神経疾患研究所
 附属総合南東北病院 附属須賀川診療所
 南東北通所リハビリテーションセンター 須賀川
 南東北パワーリハビリテーションセンター 須賀川

★2022年 年始の挨拶★



明けましておめでとうございます。
職員一同、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

二〇二二年は十干が「壬(みずのえ)」、十二支が「寅」の年にあたるので、干支は「壬寅(みずのえとら)」です。「壬」は「妊」に通じ、陽気を下に妊(はら)む、「寅」は「蟻(ミミズ)」に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。

寅年生まれの人の特徴は、前向きでチャレンジ精神が強く、何事も強い信念と自信をもって挑んでいく傾向があります。行動力に加え社交的なためリーダーに適していますが、自信家で負けず嫌いな性格から反感を買うこともあります。ちなみに、寅年生まれの有名人は、徳川家康(一五四二)、ペーサー・ヴェン(一七七〇)、カール・マルクス(一八一八)、吉田松陰(一八三〇)、さらには森英恵(一九二六)、和田アキ子(一九五〇)、松田聖子(一九六二)、本田圭佑(一九八六)、草薙剛(一九七四)、八村塁(一九九八)など個性的な超大物の名前が見られます。

寅年について昭和以降を調べてみても、朝鮮戦争勃発、アメリカ初の有人宇宙飛行、ハレー彗星大接近、一〇〇〇円札発行、急激な円高など私達を取り巻く環境の著しい変化を垣間見ることが出来ます。そして、予想に反して二〇二一年も世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症ですが残念なことには二〇二二年も感染拡大や減少を繰り返しつつ、二〇二三年までも続きそうな勢いです。とはいえ、二〇二三年以降はパンデミックから脱出し、ウイルスと本格的に共存する時代へと切り替わっていくことになるかと期待されています。

その一方で、少子超高齢化の日本を襲う「二〇二二年危機」と呼ばれる時代が待ち構えているとも言われています。二〇二二年度には団塊の世代が七五歳の後期高齢者に入り始めることで、医療保険制度における現役世代の負担は拡大の一途を辿ることになり、日本の医療制度を支えてきた巨大な仕組みが「このままでは健康保険の仕組みは維持できない」と悲鳴を上げているのです。ある資料によると二〇一八年度の社会保障給付費の総額は、年金が約五七兆円、医療費が約三九兆円、介護費が約一一兆円で、そのほか諸々を含めて約一一兆円。これが二〇二五年度には年金が約六兆円、医療費が約四兆八兆円、介護費が約一五兆円で、社会保障費は約一四兆円を超える試算されています。政府はこれまで、こうした改革の議論を先送りしたり、都合の悪い数字や実態をなるべく見せないようにしてきましたが、ついに現実味を帯びて目の前の危機として迫っているのです。その分岐点が二〇二二年と言われており、こうした点も踏まえて、政府、全世代型社会保障検討会議には、問題を先送りすることなく、「二〇二五年問題」への対応を踏まえた抜本的な医療保険制度改革の具体策を早急にまとめて頂きたいと思えます。強い信念と自信をもって、国民が一丸となって挑んでいく、チャレンジの「寅年」であることを願うばかりです。

最後に、総合南東北病院附属須賀川診療所は、脳神経外科・神経内科外来の診療部門」と、通所リハビリテーション・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所の「介護サービス部門」から構成されていますが、開所時より「脳神経専門の診療所」として地域の皆様のご要望にこころをこめて努力して参りました。

本年も職員一同、皆様にご満足頂けるよう心がける所存でございますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。



南東北通所リハビリテーションセンター須賀川

電話 (0248) 73-3329 (直通)

南東北パワーリハビリテーションセンター須賀川

電話 (0248) 73-3129 (直通)

ファクス (0248) 72-9590 (共通)

営業時間 8:30~17:00

e-メール : sukagawaclinic@mt.strins.or.jp

ホームページ : <http://www.sukagawa-clinic.com/>

〒962-0032

須賀川市大袋町206-2

(一財)脳神経疾患研究所

附属 総合南東北病院 附属 須賀川診療所

電話 (0248) 73-3331 (代表)

【関連事業所】

南東北須賀川居宅介護支援事業所

南東北訪問看護ステーション たんぼぼ